



ダイズほ場の帰化アサガオ類と アレチウリの防除対策について

近年、ダイズほ場で帰化アサガオ類やアレチウリが多く発生し問題となっています。1 回の防除で確実に効果をあげることは困難なので、**複数の方法を適切に組み合わせて防除効果を高める必要があります。**

帰化アサガオ類の防除

本県ではマルバルコウ、アメリカアサガオ、マルバアメリカアサガオ、マメアサガオ、ホシアサガオが確認されており、4 月中旬ころから 10 月まで発生します。**8 月中に発芽した株は結実するので、8 月までの防除が重要です。**



1. 土壌処理除草剤

アサガオ類に比較的高い結果が得られた土壌処理剤は表 1 のとおりです。いずれも完全に抑えることは難しいですが、かならず施用するようにしてください。

表 1 アサガオ類に効果のある土壌処理除草剤の例

(令和 7 年 5 月 28 日現在)

薬剤名	使用量	使用方法	使用時期	使用回数	散布液量
コダールS水和剤	225～300 g/10 a	全面土壌散布	は種後出芽前（雑草発生前）	1 回	70～100ℓ/10 a
フルミオWDG	5～10 g/10 a	全面土壌散布	は種後出芽前（雑草発生前）	1 回	100ℓ/10 a

2. 茎葉処理除草剤①（全面茎葉処理）

土壌処理剤で防除できなかったアサガオ類は茎葉処理剤で防除

一例として、①**ダイズ本葉 2 葉期にアタックショット乳剤**で全面茎葉処理を行います。さらに発生が多く続く場合は、②**1～2 週間後に大豆バサグラン液剤**の全面処理を行います。いずれの除草剤も大豆に葉害が生じることがありますが、新葉の展開に伴って生育は回復します。

表 2 アサガオ類に効果のある茎葉処理除草剤の例

(令和 7 年 5 月 28 日現在)

薬剤名	使用量	使用方法	使用時期	使用回数	散布液量
アタックショット乳剤	30～50mℓ/10a	雑草茎葉散布または全面散布	本葉 2 葉期～開花前（雑草生育期）（但し収穫 45 日前まで）	1 回	100ℓ/10 a
大豆バサグラン液剤（ナトリウム塩）※	100～150mℓ/10a	雑草茎葉散布または全面散布	ダイズの 2 葉期～開花前（雑草の生育初期～6 葉期）（但し収穫 45 日前まで）	1 回	100ℓ/10 a
	300～500mℓ/10a	畦間雑草茎葉散布※	ダイズの生育期（雑草の生育初期～6 葉期）（但し収穫 45 日前まで）		

注）※大豆バサグラン液剤は全面茎葉処理が畦間処理のいずれか 1 回のみです。畦間処理はダイズ本葉にかからないように散布します。

3. 茎葉処理除草剤②（畦間・株間処理）

以上の対策でも十分防除できない時は、非選択性茎葉処理除草剤で株間・畦間処理を行います。**株間処理はダイズ本葉 5 葉期以降に、アサガオ類が「つる化」していないタイミングで、**ダイズ本葉にかからないように散布します。

表 3 株間・畦間処理ができる除草剤の例（処理法のうち畦間・株間処理のみを示す）

(令和 7 年 5 月 28 日現在)

薬剤名	使用量	使用方法	使用時期	使用回数	散布液量
バスタ液剤	300～500mℓ/10a	雑草茎葉散布	収穫 28 日前まで（畦間処理：雑草生育期）	3 回以内	100～150 ℓ/10 a
		雑草茎葉散布	収穫 28 日前まで（株間処理：本葉 5 葉期以降雑草生育期）		

（乗用管理機に**専用の吊り下げノズル**を付けて散布すると効果的です）

アレチウリの防除

4 月から出芽が見られ、10 月までだらだらと発生し、よく生育した株の茎長は 10m 以上となって、わずかの株でほ場一面を覆ってしまうこともあります。開花は 8 月下旬に始まり、**9 月以降に出芽したものは開花・結実します。防除対策はアサガオに準じます。**なお、アレチウリに直接塗布する除草剤（タッチダウン iQ 2 倍液：雑草生育期 但し収穫 7 日前まで 2 回以内）（令和 7 年 5 月 28 日現在）を**専用の塗布器で処理する**と効果的に防除できます。



＜その他の注意点＞

アサガオ類やアレチウリは、ほ場の中や周囲だけでなく、道路や水路脇、河川敷などに大きな群落を作っていることがあります。まん延を防ぐためには、ほ場だけでなく**地域全体としての防除が重要です。**

■ 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用してください。

■ 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。

農機営農支援部 営農支援課 電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040